

有機物腐熟促進・微生物相改善資材

酵素・で・くさ〜る

機械散布OK!!



■保証成分量・標準含有成分量

保証成分量			標準含有成分量(乾物中)										(財団法人日本肥糧検定協会分析例)	
窒素 全量	燐酸 全量	加里 全量	腐植酸	石灰 可溶性	苦土 可溶性	鉄	ホウ素	マンガン	銅	亜鉛	モリブ デン	pH		
3 %	4 %	1 %	14 %	7 %	1 %	0.40 %	0.01 %	0.03 %	45 ppm	190 ppm	17 ppm	6.7		

三興株式会社

NET15kg

酵素・で・くさ〜る

▶ 酵素・で・くさ〜るの特長

- 1 バチルス菌(枯草菌 [IK210])をはじめ、強力な有機物分解酵素を生み出す幾種類もの微生物(細菌・糸状菌・放線菌)が、1g当たり1億個以上、生きたまま含まれています。
- 2 複数の分解酵素の総合力により、短期間で有機物を分解できますので、稲わら・野菜残さなどの分解促進、緑肥の腐熟促進、堆肥の発酵促進に効果的です。
- 3 バチルス菌は耐熱性がある為、ペレット製造時(低温処理80℃以下)でも死滅しません。
- 4 バチルス菌は太陽熱消毒でも生き残り、また化学農薬による土壌消毒後も、環境条件が整えばいちはやく増殖して土壌微生物相を改善します。
- 5 バチルス菌は胞子を形成するため、長期間の保存にも耐えられます。
- 6 好適pHの範囲は広く、土壌pH4.5~9.0でお使い頂けます。
- 7 製品のpHは7前後ですので、発酵促進に最適です。
- 8 ペレット状で、撒きやすく、機械散布もできます。

▶ 酵素・で・くさ〜るの原料内容

- 1 枯草菌 [IK210] など、有機物を強力に分解する有効菌群。
- 2 有効菌群のエサとなる有機質肥料(混合有機質肥料・菜種油かす・米ぬか油かす・乾燥菌体)と無機質肥料(少量の尿素・硫安・過石)。

▶ 用途と使用方法

稲わらの分解 野菜残さの分解 緑肥の腐熟促進	10a当たり3~4袋(45~60kg)を散布し、すき込んでください。
堆肥の発酵促進	t当たり3~4袋(45~60kg)を散布し、混ぜ込んでください。
太陽熱消毒時の微生物相改善	太陽熱消毒前に、10a当たり8~10袋(120~150kg)を散布し、すき込んでください。
土壌消毒後の微生物相改善	土壌消毒後にガス抜きをした後で、10a当たり8~10袋(120~150kg)を散布し、すき込んでください。

⚠ 使用上の注意 石灰窒素との併用や、殺菌剤との同時使用はさけてください。